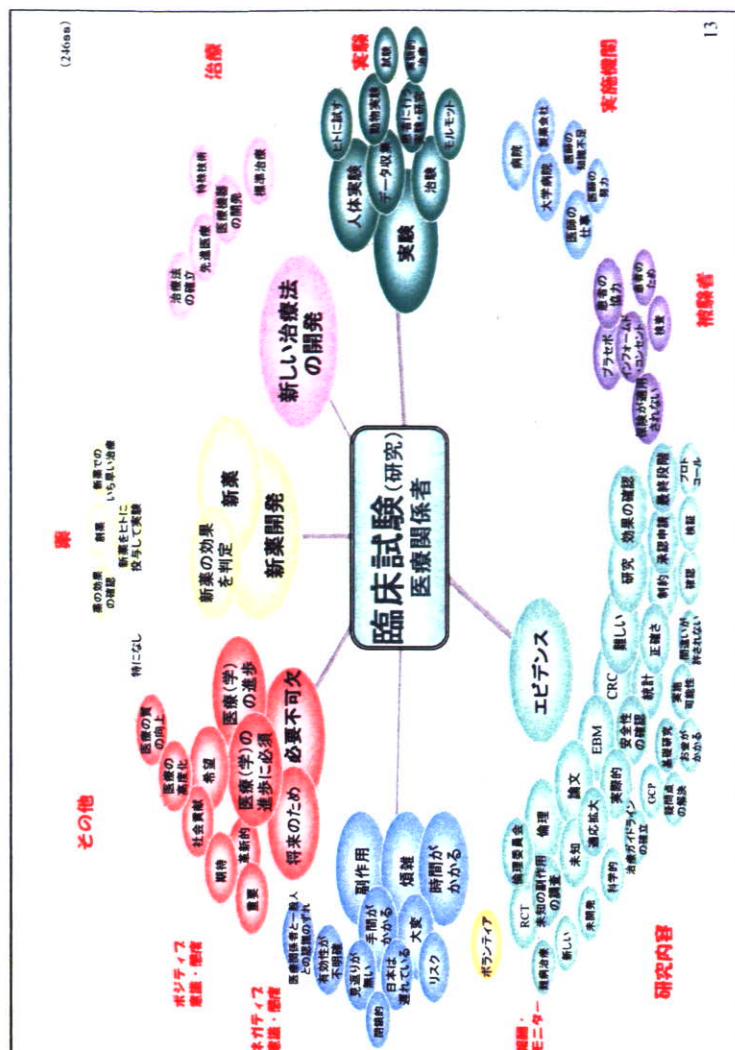
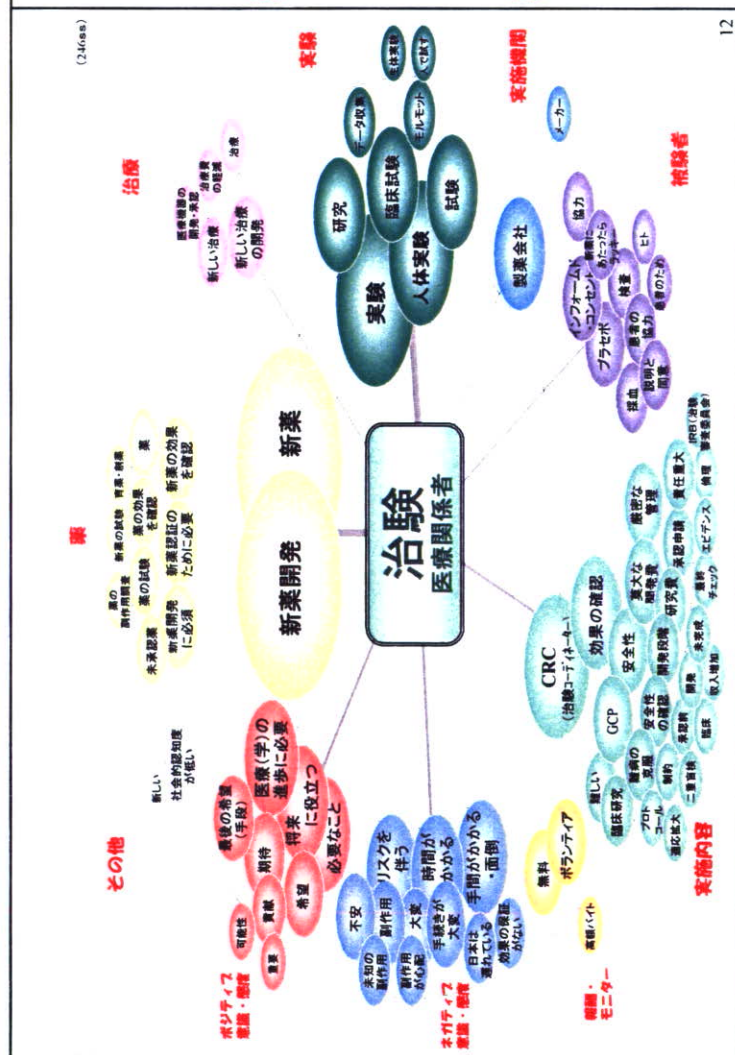


ランキング
ワード
連想



医療関係者「治験」の道想	出現数	出現率 /246
新薬開発	40	16.3
新薬	38	15.4
実験	26	10.6
人体実験	17	6.9
CRC(治験コーディネーター)	13	5.3
試験	12	4.9
製薬会社	12	4.9
手間がかかる・面倒	12	4.9
臨床試験	11	4.5
時間がかかる	11	4.5
医療(学)の進歩に必要	10	4.1
研究	9	3.7
リスクを伴う	9	3.7
効果の確認	8	3.3
必要なこと	8	3.3
将来に役立つ	8	3.3

「治験」連想ワード	PNスコア
新薬	32
新薬開発	32
医療(学)の進歩に必要	10
CRC(治験コーディネーター)	9
希望	7
期待	7
将来に役立つ	7
試験	-5
時間がかかる	-5
不安	-5
副作用	-5
手続きが大変	-6
手間がかかる・面倒	-7
リスクを伴う	-8
人体実験	-14
実験	-16

出現率 ／246	出現数
新薬開発	32 13.0
新しい治療法の開発	25 10.2
実験	20 8.1
新薬	17 6.9
必要不可欠	14 5.7
エビデンス	13 5.3
医療(学)の進歩	12 4.9
煩雑	11 4.5
医療(学)の進歩に必須	10 4.1
新薬の効果を判定	9 3.7
人体実験	8 3.3
将来のため	8 3.3
時間がかかる	8 3.3
副作用	8 3.3

「臨床」の理想ワード	PNスコア
新薬開発	26
新しい治療法の開発	21
新薬	14
エビデンス	12
医療(学)の進歩	12
必要不可欠	12
人体実験	-4
手間がかかる	-5
煩雑	-6
時間がかかる	-7
実験	-7
副作用	-7

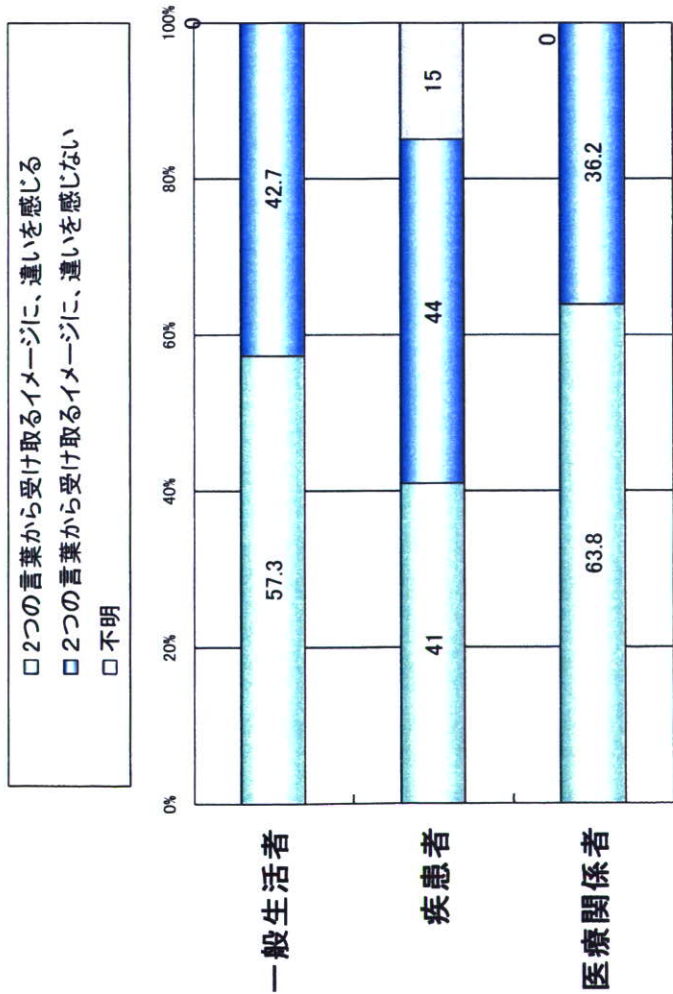
「治験」と「臨床試験・臨床研究」 のイメージの違い

「臨床試験・臨床研究」と「治験」の言葉のイメージの違い

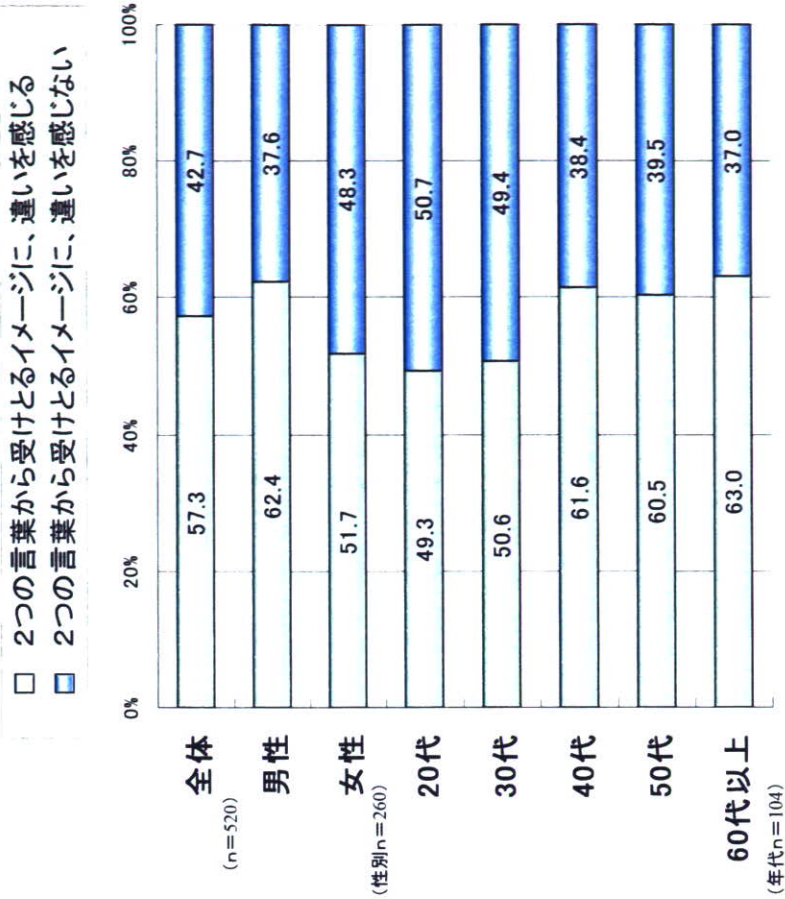
Q 「臨床試験・臨床研究」という言葉と「治験」という2つの言葉から受けるイメージに、あなたは何らかの違いを感じますか？

- 「治験」と「臨床試験・臨床研究」の言葉から受けるイメージに違いを、一般生活者、患者、医療関係者で比較すると、医療関係者が最も「違いを感じる」(64%)と答えている。
- 一般生活者で性別、年代別にみると、性別では男性のほうが違いを感じ、年代別では20代30代の若年層より40代以上のほうが違いを感じる人が多い。

【「臨床試験・臨床研究」と「治験」の言葉のイメージの違いの有無】



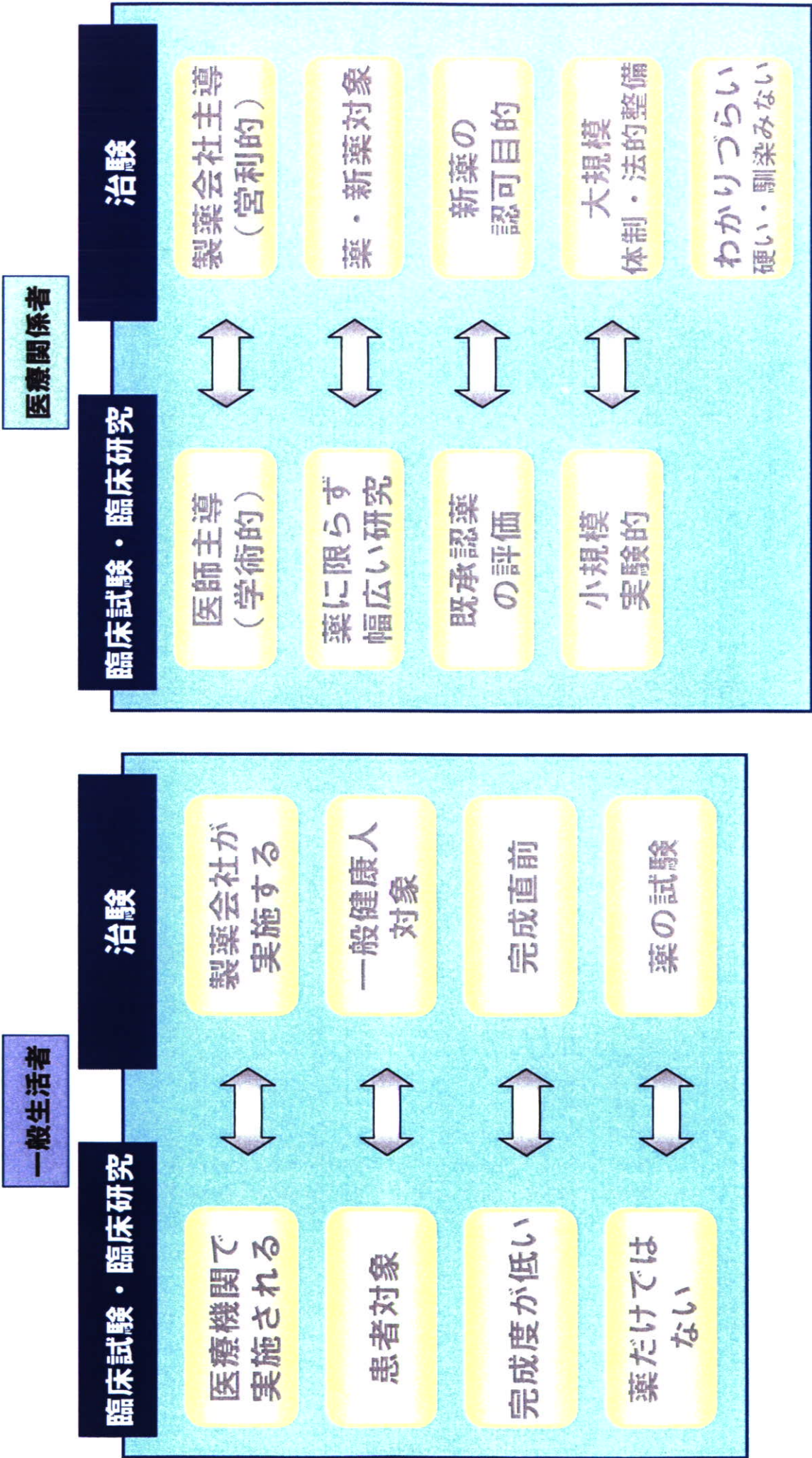
＜一般生活者 属性別＞



「臨床試験・臨床研究」と「治験」の言葉のイメージの違い

Q18 「臨床試験・臨床研究」と「治験」という言葉のイメージの違いについて、具体的に教えてください。

【「臨床試験・臨床研究」と「治験」の言葉のイメージの違いの内容】



「臨床試験・臨床研究」と「治験」の言葉のイメージの違いの有無 その理由

Q24 「臨床試験・臨床研究」という言葉と「治験」という2つの言葉から受けるイメージに、あなたは何らかの違いを感じますか？

患者

臨床試験(研究)のイメージ	治験のイメージ	共通・未分類	Q25 「臨床試験または臨床研究」と「治験」という言葉のイメージの違い
研究段階	採用可能な薬	臨床→治験	臨床試験は、まだまだ研究の段階である。治験は、採用可能な薬なのでOK状態に入っている。
開発中	次の段階		臨床試験は開発途中。治験は一段階クリアされた次の段階というかんじ。
開発中	完成間近		治験の方が、自分達の目の前というイメージ、すぐに幅広く使われる感がある。
実験台	一番いい方法を考えてくれる		臨床試験→実験台になるような感じがする。治験→色々と相談しながら一番いい方法を考えてくれる。
実験台			前者の方が実験台のような印象がある。
モルモットの	原因究明		試験の方はモルモットの 研究の方は究明・原因
実験的	バッチテスト		臨床試験：重々しく、実験的 治験：バッチテスト
死に近い人が試される			臨床という言葉がついてたら、死という方向に近づいている人が試されているみたいに受け取れます
わからない	実験的		臨床は、難しくて何をするのかわからない。治験は、何かの実験をすると感じさせる
	実験的		治験は実験的なイメージ
	具体的		「治験」の方が具体的に何をやるかというイメージを持つことができる
	実践的		治験の方がより実践的
安全	人体実験		臨床研究の方が、安全性に対する裏付けがあるようなイメージ。治験は、人体実験のような悪いイメージ
動物実験	人体実験		臨床試験：動物も使用しての研究 治験：人のみ使用しての研究というイメージ
動物実験	人体実験		臨床試験…人間以外の動物 治験…人間
動物実験	調査の段階がわからない		臨床試験は入院患者に試して、治験は通院患者に試すというイメージ
入院患者対象	通院患者対象		臨床試験は入院患者をされていると思う。治験は通院している人。
入院患者対象	通院患者対象		臨床試験は幅広い。治験は、新薬の開発のためのもの。治験にくら臨床…は重々しいイメージがある。
幅広い	新薬の開発		臨床試験→とても複雑な研究 治験→新薬のテスト
複雑な研究	新薬のテスト		臨床試験：ある程度確立された治療法の試験、研究という感じがする。
確立された治療法	新薬の効果を調べる		治験の方は新しい薬の効果を調べるという革新的イメージ
短期的	長期的		臨床試験は、短期間、一時的で、治験は長期間、継続的
未知のものを実験	有効性・副作用を確認	臨床→治験	臨床試験はまた海のものとも山のものともわからない段階における実験であるが、治験はその段階を越えたもので、その治療法や薬などがどの程度有効か否か副作用があるかを確認すること
聞きなれている	暗い		「臨床試験」の方が聞き慣れているが、「治験」のほうが暗いイメージだ。
暗い	冷たいイメージ		治験の方が簡潔だが冷たいイメージがある
先生、病院のため	明るい		臨床は暗い。治験は明るい。
医師の管理下	自分たちの為		臨床試験は先生、病院のため。治験は自分たちの為のイメージがある
すぐに試験を行う			「臨床試験・臨床研究」の方が、医師などの管理下で行われているというイメージが強い。
	覚えやすい		臨床試験はすぐに試験を行われるように思う
	内容がわかりにくい		する事は同じだろうが、治験のイメージの方がおぼろげな感じがする。
		情報不足	治験では、内容がわかりにくい。
			情報不足。もっとPRが必要。
			先進医療技術の為の実験または研究。病気がよくなるというイメージ
			薬をつくる。生きもの実験。もうすぐ薬。
			患者側から見た場合に違いを感じる
			治験は臨床試験の意味はほとんど同じでもイメージがわからない、解釈できない
			薬はあまり使えない。薬を飲んだ結果、どうかと診断する
			何故治験と言うのか？また、人体実験、モルモットといったイメージを払拭する言葉だけではあるのなら反対です。

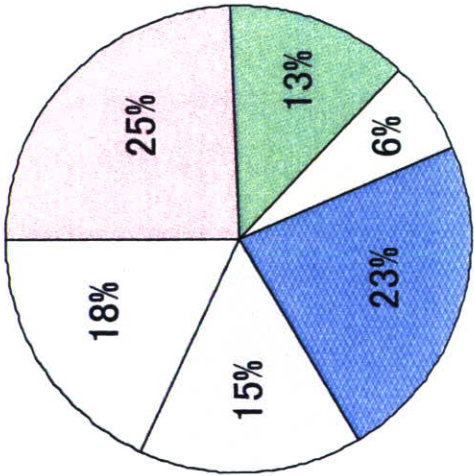
「臨床試験・臨床研究」と「治験」のいずれかの参加意向 その理由 <疾患者>

Q26 あなたは、今後、自分にあう条件の「治験」あるいは「臨床試験・臨床研究」があればどちらに参加したいと思いますか？
お気持ちに近いものをひとつだけ選んで番号に○をつけてください。

疾患者

【「臨床試験・臨床研究」と「治験」の参加意向】

- ☐ 「治験」、「臨床試験・臨床研究」どちらでも参加したい
- ☒ 「治験」は参加したいが、「臨床試験・臨床研究」は参加したくない
- ☐ 「治験」は参加したくないが、「臨床試験・臨床研究」は参加したい
- ☒ 「治験」「臨床試験・臨床研究」どちらにも参加したくない
- ☐ その他
- ☐ 不明



(n=110)

性別	年代	Q26	変換語	Q27 「臨床試験」または「治験」参加意向理由 「どちらでも参加したい」
女性	40代	1	医学の進歩のため	副作用のきつそうなのは困るが、効果があり、自分の為、また今後色々役立つのであれば参加してもいいかな？
男性	70代	1	医学の進歩のため	現在よりも治療の可能性が大きくなる
女性	60代	1	医学の進歩のため	今後の治療にお役に立てたらよい。
男性	60代	1	医学の進歩のため	臨床試験、臨床研究はややもすればモットの実験と誤解する可能性がある。医者の方の良心を信じた時、医学の発展を願った時には、我々は治験と合わせて考えたい。
女性	20代	1	期待、希望がある	将来への希望を持ちたい
女性	70代	1	参加したい	何でもやってみよう
男性	70代	1	次世代のため	子孫の健康増進のため
男性	60代	1	自分の（将来の）ため	自分のためにもなり、社会のためにもなると思うから
男性	60代	1	自分の治療のため	持病が改善され、同病で悩む人のお役に立てれば良いことだと思います。
男性	70代	1	自分の治療のため	自分への治療を通じて世間の役に立つ事
男性	30代	1	自分の治療のため	自分自身が納得できるのであれば自身の治療もでき、社会貢献にもつながると思うから。
女性	50代	1	自分の治療のため	病気がよくなれば良いなと思う
女性	60代	1	社会貢献したい	いろいろな病気があります。役に立つのであればどちらにも参加してみたいと思います。
男性	60代	1	社会貢献したい	自分への治療を通じて世間の役に立つ事
男性	70代	1	社会貢献したい	自分自身が納得できるのであれば自身の治療もでき、社会貢献にもつながると思うから。
女性	60代	1	社会貢献したい	少しでも役立ちたい
男性	50代	1	社会貢献したい	人のため
女性	40代	1	社会貢献したい	本当に自分が必要であれば参加する意味はある
女性	40代	1	条件があえば	できる範囲で役に立てれば
男性	60代	1	その他	アンケートを記入しながら意味が理解できた為
女性	50代	1	その他	健康でいたいから
男性	50代	1	その他	大まかに言えばあまり違いはないので
男性	60代	1	その他	内容、具体的な目的もわからない問いかけにつき、修正文が精一杯

性別	年代	Q26	変換語	Q27 「臨床試験」または「治験」参加意向理由 「治験」に参加したい
男性	50代	2	「試験」は怖い	こわいイメージがある
女性	60代	2	「試験」は怖い	試験、研究はなんでもなく怖い
女性	20代	2	「試験」は怖い	臨床試験は怖い
女性	30代	2	「試験」は怖い	前者の方が実験台のようなイメージがある
女性	50代	2	「治験」は安心	安全性、リスクが少ないと思うので、治験が安心
女性	50代	2	「治験」は安心	治験は安全
男性	70代	2	「治験」は安心	治験は人体実験ではなく、なんとか病気を安全な方法で治す手段である。
男性	70代	2	「治験」は安心	腫瘍科、内科の先生からいつも相談していますから
女性	50代	2		臨床試験は三段階になっているから

「臨床試験・臨床研究」と「治験」のいずれかの参加意向 その理由 < 疾患者 >

性別	年代	Q26	変換語	Q27 「臨床試験」または「治験」参加意向理由
女性	50代	3	「治験」は不安	治験は少し不安
男性	20代	3	安全性がわからない	作用のわからない薬はリスクが高すぎる
女性	60代	3	確立していない	完璧でないから
女性	50代	3	期待・希望がある	医療に何らかの革命、進歩を期待する
男性	50代	3	なんとなく	なんとなく
女性	50代	3	わからない	あまりよくわからない

性別	年代	Q26	変換語	Q27 「臨床試験」または「治験」参加意向理由 「どちらにも参加したくない」
女性	60代	4	健康に自信がない	体力・精神力に自信がない
女性	60代	4	健康に自信がない	必要とは思いますが、身体に自信がない
女性	70代	4	高齢のため	年齢的に無理
女性	30代	4	怖い	怖い
男性	40代	4	怖い	怖い
女性	50代	4	怖い	怖いから
女性	30代	4	不安	不安
男性	70代	4	リスクが伴う	リスクがあるように思う
男性	50代	4	リスクが伴う	リスクが大い
男性	30代	4	参加したくない	あまりしたくない
男性	30代	4	参加したくない	死にそうになるまで嫌だ
男性	60代	4	実験台になりたくない	治験は薬を飲まないといけいけいし、臨床の方はよくわからないので参加したくないです。
女性	30代	4	自分の状況による	手術ばかりしてるのでモルモットみたい
女性	60代	4	内容がわからない	自分が薬にあわなかったらいいやだから。
女性	50代	4	内容を知ってから考える	実際そのような立場にならないと決断できません。どちらにしても医師とのコミュニケーションが大きなウエイトを占めると思いますが、今は何となくわかっていてるだけなのでもっと知りたいと思う
女性	20代	4	その他	メリットがあるかわからない
女性	50代	4	その他	どちらかと言えば④。いま、自身が病をかかえ今の治療に満足しているから。
女性	50代	4	その他	知らないより知った方がいいのじゃないか、参加しないより、参加したほうがいいのじゃないか、楽しみが大い
女性	60代	4	その他	田舎にて母の在宅介護中だから
女性	50代	4	その他	

性別	年代	Q26	変換語	Q27 「臨床試験」または「治験」参加意向理由 「その他」
女性	50代	5	興味がない	何も考えられない
女性	40代	5	健康に自信がない	体力が今あまりなく手術してから、後遺症を引けるだけでも負担なので精神的ケアもしてほしい。
女性	50代	5	将来的にはわからない	今後の病状がどのようなようになっていくのか不明なので答えにくい
女性	50代	5	説明が充分にされれば	すべての情報を与えられた上で冷静に判断できる状態であれば考えたい
男性	60代	5	その場にならないとわ	医師との信頼関係と病状によりよく考えて決めたいと思います。
男性	40代	5	その場にならないとわ	現段階ではよくわからない。年齢的にまだ考えられないから。
男性	40代	5	その場にならないとわ	病状によるから
女性	20代	5	内容による	その薬の効果、副作用、何の病気のための薬かによる
女性	40代	5	内容を知ってから考える	あまり言葉の理解ができていない。もっとわかりやすく、例を使って、説明してほしい。
男性	60代	5	内容を知ってから考える	まずは情報開示とPR
女性	30代	5	内容を知ってから考える	内容をよく知ってから考えたい
女性	50代	5	内容を知ってから考える	臨床試験、臨床研究は聞いた事がないので、もっとよく知ってから、考えたいです
女性	20代	5	臨床がよくわからない	「治験」と「臨床試験・研究」がそれぞれどのようなものなのか、きちんと理解したうえで、参加する、しないを決めたいと思うから
女性	30代	5	臨床がよくわからない	あまりにどういふものなのか知らなすぎで判断ができないというのが正直な気持ちです
女性	20代	5	その他	どちらかを参加するのもしないのもどちらでもいいから。
女性	70代	5	わからない	よくわからない

「治験」と「臨床試験・臨床研究」のイメージ・理解の違い（まとめ）

■認知率では、「治験」よりも「臨床試験・臨床研究」のほうが高いが、理解率で見ると、「臨床試験・臨床研究」は「なんとなくわかる」人が大半であり、一般生活者においては「意味・内容を理解し説明できる」人の割合は「治験」のほうが高い。

「臨床試験・臨床研究」は言葉は知っているが、なんとなくしか理解されていない。「治験」はまったく知らない人によく知っている人の2極化の傾向が強い。

■連想ワードからみた理解内容は、一般生活者と患者とともに、「治験」はその漢字の推測から、「薬」よりも「治療」に関するイメージが強くなっている。

また「臨床試験・臨床研究」は「治験」よりも「実験」イメージが強く、実施内容に関しての言葉も多く出てくる。「治験」は一般生活者では「報酬」に関する連想が多く出てくるが「臨床試験・臨床研究」では出てこない。

■連想した言葉のポジ・ネガの評価では、一般生活者と医療関係者は、「臨床試験・臨床研究」よりも「治験」のほうが、「良くないイメージ」と答えた割合が多い。

■一般生活者では、「治験」「臨床試験・臨床研究」とともに、ポジティブワードは「新薬」「新薬開発」や「医療の発展に必要（貢献）」といった言葉である。一般生活者では若い世代に多く出てくる「高額バイト」「報酬がもらえる」などもポジティブな言葉となっている。

ネガティブワードは、「人体実験」「副作用」「モルモット」「実験」などの言葉である。医療関係者では、「時間がかかる」「手間がかかる」「煩雑」などがネガティブワードである。

■情報入手媒体では、「臨床試験・臨床研究」はマスメディアの影響が大きいですが、「治験」は現状ではネットが主たる情報源になっている。今後、期待する情報提供媒体としては、マスメディア（テレビのニュースや新聞記事）が最も望まれている。「治験」においては病院内のポスターや医療関係者からの話を期待する率が「臨床試験・臨床研究」よりも高い。また患者は「新聞記事」に次いで「医師・看護師など医療関係者」からの情報提供を期待している。

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

なし

雑誌

なし